

# 工窓会報

修道創意

校訓 選定者 中村 元先生

会長挨拶

## 創立120周年の大望を、全卒業生と共に

### 令和8年度 工窓会本部総会に向けて

島根県立松江工業高等学校  
卒業生会「工窓会」 会長 田中 正彦



爽やかな初夏の風が島根の山々を吹き抜ける季節となりました。工窓会会員の皆様におか

れましては、各界各層において郷土の発展、ひいては我が国の産業を支える中核として活躍のことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より本会の運営に対し、多大なるご理解と物心両面にわたる温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私たちの母校、島根県立松江工業高等学校は、来年いよいよ創立120周年という、極めて大きな歴史の節目を迎えます。明治38年、島根県工業講習所として産声を上げて以来、1世紀を超える歲月の中で、本校が輩出してきた技術者は3万人を超えます。戦前・戦後の動乱期、高度経済成長期、そして現在のデジタル変革期に至るまで、いかなる時代にあっても、松工の卒業生は「実学尊重」の精神を胸に誠実に、そして力強く社会の基盤を築いてまいりました。この120年という歩みは、そのまま島根の近代化と発展の歩みそのものであり、その一翼を担う工窓会の一員であることは、私にとっても、また皆様にとっても大きな誇りであります。

この記念すべき年を目前に控え、本年6月発行の機関紙を通じて、私は改めて会員の皆様に呼びかけたいと思います。今、私たちがなすべきことは、先人が築き上げた伝統という名のバトンを、確かな手触りとともに次代へと繋いでいくことです。技術の進歩は目覚ましく、社会のあり方は刻一刻と変化していますが、松工で培われた

「ものづくり」に対する真摯な姿勢、そして困難に立ち向かう不屈の精神は、普遍的な価値を持っています。これらを後輩たちへ継承し、母校が今後も地域に愛され、必要とされる学び舎であり続けるよう支えることこそ、我々工窓会の使命に他なりません。

その第一歩として、来る7月11日(土)に恒例の「工窓会本部総会」を開催いたします。本年の総会は、単なる例年の会合ではありません。来年に控えた創立120周年記念事業の全容を共有し、卒業生一人ひとりの「母校への想い」を結集させるための、極めて重要な決起の場であります。昨今、社会情勢の急速な変化により、若手世代の交流の希薄化が課題となっておりますが、このような大きな節目こそ、世代の垣根を越え、技術を志した者同士が「松工」の名の下に集う絶好の機会です。

総会では、記念式典や教育環境の整備支援、さらには現役生たちの夢を後押しする新たな取り組みについても、具体的にお示ししたいと考えております。創立120周年を、単なる過去の振り返りとするのではなく、これからの未来を見据えた「新しい松工」への飛躍の原動力にするため、皆様の知恵と力をお貸しください。

7月の総会当日、松江の地で、白髪を蓄えられた大先輩から、これからの未来を担う若きエンジニアまで、多くの皆様と再会し、母校の未来について熱く語り合えることを私は心から楽しみにしております。

結びに、母校の更なる躍進と、工窓会会員の皆様の益々のご健勝、そしてご多幸を心より祈念いたします。私の挨拶とさせていただきます。皆様、7月11日(土)にお会いしましょう。

工窓会  
総会

令和8年7月11日(土) 午後4時から  
今年も「ホテル一畑」ですよ!

お誘いあわせの上、多数の皆様のご出席をお願い致します。

特別企画 母校吹奏楽部の生徒によるミニコンサートを  
総会後に開催

懇親会 特別企画終了後 会費 5,000円

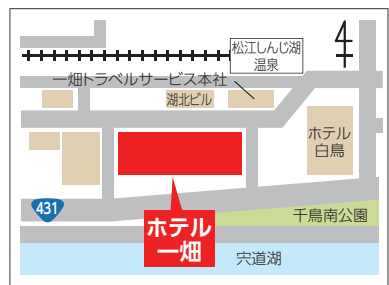
会場 ホテル一畑 (松江市千鳥町30 TEL 0852-22-0188)

※今年は出席ハガキを同封していますので、出席される方は切手を貼って予めお出してください。

【工窓会総会に関するお問い合わせ】松江工業高校 (代) 0852-67-2121 担当:高松

令和3年度卒 (令和4年3月卒) 以降の卒業生は、懇親会費は無料です。是非参加してください。

電気通信科・電子科卒の方の懇親会費は電通・電子科卒業生会より支出されます。



集まれ!  
同志!

# 思い出の学校

教頭 周藤 紀之



工窓会員のみなさまには、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

本年度より松江工業高等学校の教頭として着任いたしました周藤紀之と申します。よろしくお願いたします。

本校には3回目の勤務となりますが、初めての勤務は平成7年4月です。最初は電子科の常勤講師として勤務することとなり、教諭となつてからは情報技術科の所属となつて、合計14年間も務めさせていただきました。当時は、大学を卒業したばかりで教員としての業務に戸惑うとともに、実習では自身の知識・技術の不熟さを痛感しながらも、先輩教員や時には生徒たちにもさまざまなことを教わりながら、教員として多くの経験

をさせていただきました。連続14年勤務というのは教員の世界でもめずらしい長期間でありましたが、長期間であったからこそ失敗を繰り返しながらも業務をしつかりと覚えることができ、また知識や技術を身につけることができたと感じています。

まだ建て替わる前の校舎でしたが、担任、部活動顧問、生徒会担当など、生徒たちと一緒に活動しながら、多くの思い出を作ることができました。

このたび、教員として育てていただくとともに、多くの思い出が残る本校に教頭として戻ることになりました。微力ではありますが、多くのことを学ばせていただきました本校に少しでも貢献できるように努めてまいりたいと思っております。

最後に、会員のみなさまの益々のご活躍と工窓会のご隆盛をお祈りするとともに、引き続き本校へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

## 令和7年度～8年度 全日制 部活動等成績

### ◎レスリング部

全国高校総体島根県予選大会 (5月)  
学校対抗戦の部 第2位  
個人対抗戦の部

- 第1位 125kg級 糸原天翔 (F2)
- 第2位 55kg級 岸 樹 (M3)
- 60kg級 山本達也 (M2)
- 80kg級 西村太智 (M1)
- 第3位 65kg級 奥原大雅 (M2)
- 71kg級 加藤翔太 (M2)



### ◎ソフトテニス

県総体 個人戦  
**優勝** 平佐・加藤ペア「インターハイ出場」  
3位 池田・鍛冶ペア「インターハイ出場」  
5位 井原・坂根ペア「インターハイ出場」  
5位 知野見・曾田ペア「インターハイ出場」  
団体戦 **優勝**「インターハイ3年連続出場」  
(中国大会22年連続出場)

### ◎陸上競技部

中国高等学校陸上競技選手権大会  
男子ハンマー投 **1位** 高見晃史郎(J3)  
(大会新記録 島根県高校新記録)  
全国高等学校リモート陸上競技大会  
男子ハンマー投 **2位** 高見晃史郎(J3)

### ◎フェンシング部

令和7年度島根県高等学校総合体育大会  
男子団体 **優勝** インターハイ出場  
女子団体 **2位** インターハイ出場  
男子個人フルーレ **2位** 柏井夢希(K3)インターハイ出場  
男子個人エペ **2位** 佐藤 逞(M3)インターハイ出場  
男子個人サーブル **優勝** 加藤大雅(D3)インターハイ出場  
令和7年度全国高等学校選抜フェンシング大会島根県予選  
男子団体フルーレ **優勝** 全国選抜大会出場  
男子団体エペ **優勝** 全国選抜大会出場  
令和7年度全国高等学校選抜フェンシング大会中国地区予選  
男子団体サーブル **優勝**(2位校リーグ)全国選抜大会出場

### ◎ものづくり部

高校生ものづくりコンテスト(旋盤作業部門)島根県大会  
M3 田部 瑛 **第1位**  
高校生ものづくりコンテスト(旋盤作業部門)中国大会  
M3 田部 瑛 **第4位**  
高校生ものづくりコンテスト(電気工部門)島根県大会  
EC2 坂木遥哉 **第1位**  
高校生ものづくりコンテスト(溶接部門)島根県大会  
M3 佐々木恵吾 **第2位**  
高校生ものづくりコンテスト(溶接部門)中国大会  
M3 佐々木恵吾 **第2位**  
高校生ものづくりコンテスト(電子回路組立部門)中国大会  
D3 高尾莉玖  
令和8年度  
高校生ものづくりコンテスト(旋盤作業部門)島根県大会  
M2 門脇龍斗 **第2位**

## 第79回国民スポーツ大会 陸上競技 結果報告

陸上競技部顧問

寺西 康浩

工窓会員の皆様には、平素より母校の発展にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

昨年度、2025年10月3日、滋賀県彦根市平和堂HATOスタジアムで行われた第79回国民スポーツ大会陸上競技男子少年Aハンマー投で情報技術科3年高見晃史郎君（福岡大学進学）が7位入賞しましたので報告いたします。

高見君は、インターハイ優勝を目標に日々努力を重ねてきました。中国高校総体で大会新記録の64m58を投げ、全国ランキング2位でインターハイに臨みました。インターハイでは、直前のルール変更やプレーヤーなどから十分に力を発揮することができず、予選敗退となりました。非常に悔しい思いをしましたが、国民スポーツ大会に気持ちを切り替えて優勝を目指し練習に励み、本番に臨みました。優勝はできませんでしたが、7位入賞となる素晴らしい投てきをしました。日々の努力が報われた結果でした。これは、高見君の努力の賜物ですが、常に熱い指導をしていただいた青山先生や周囲の

サポートのおかげであると感謝しております。高見君は大学へ進学し、日本一を目指し、努力を続けております。引き続き応援をよろしくお願いいたします。

現在、陸上競技部は部員30名で短距離・長距離・跳躍・投てきの4パートで活動しております。部活動を通して、社会に出てからも活躍できる人間形成を目的に活動し、凡事徹底をモットーに全国大会出場および入賞を目指し、日々の練習に取り組んでいます。これからもご支援・ご協力をよろしく願います。



## 音楽で彩る、 学校生活のひととき

吹奏楽部顧問

平山 愛

(R7・8年F科担任)

工窓会員の皆様におかれましては、平素より母校の活動にあたたかいご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、例年7月に開催されております工窓会総会後には、毎年、吹奏楽部が演奏の機会をいただいております。このたびはそのご縁に感謝申し上げます。このたびは普段の活動の様子をご報告いたします。

本校吹奏楽部は、日頃より校内外でさまざまな演奏活動を行っています。特に校内では、入学式・卒業式などの各種式典をはじめとし、野球応援、文化祭など、学校行事や学校生活に関わる大切な場面で演奏の機会をいただいています。校外では、幼稚園でのミニコンサートやプラバ光の杜プロジェクトなどに参加しています。こうした活動において、ほとんどの演奏曲は部員たちが選曲しています。聴いてくださる方々のことを第一に考え、曲選びから演奏に至るまでこだわりをもって取り組んでいます。

近年では、時折OB・OGも演奏に加わっています。OB・OGの多くは、コロナ禍に演奏の機会が限られ

ていた学年の卒業生です。一緒に演奏できる機会に限られていますが、ともに音を重なる中で、学年を越えたとつなかりが生まれ、部としての活動の幅も広がっています。来たる7月の総会後には、このOB・OGも加えての演奏を今年も予定しております。卒業生の皆様の前で演奏させていただきます。現役部員にとってもOB・OGにとっても大きな励みであり、音楽を通して本校のつながりを感じられる貴重な場となっています。

なお、8月には、全日本吹奏楽コンクール県大会への出場を予定しています。昨年度の「金賞まであと一步」という経験を糧に、今年度はさらに、自分たちの目指すよりよい演奏ができるよう練習を重ねています。

今後も、音楽を通じたさまざまなつながりを大切にしながら、本校吹奏楽部らしいあたたかな演奏を元氣いっぱいにお届けできるよう活動してまいります。今後とも、応援のほどよろしく申し上げます。



# 定時制

# 体験学習

定時制では生徒たちがさまざまな経験を通して、勤労観やコミュニケーション能力を習得することを目的に多くの体験学習・講座などを実施しています。その一部を紹介いたします。

## 企業見学

社会的関心や職業意識を高めることを目的として、企業見学を実施しました。県内の企業や施設の見学を通して、実際の活動および様々な仕事や働き方などを体験的に学習しました。



## 茶道体験学習

1・2年生を対象に茶道体験学習を行いました。講師は、不昧流不昧公の杉原先生と山本先生です。この茶道体験では、先生からお菓子をいただくところから、お茶をたてるところまでの作法



を教えていただきました。一連の流れにお茶文化の奥ゆかしさに触れることができました。茶道体験を通して、伝統文化に触れることができ、良い体験になりました。

## そば打ち体験学習

1・2・3年生を対象にそば打ち体験学習を行いました。講師は、地域のそば打ち名人である吉岡様と高橋様です。生徒は名人の指導のもと、コミュニケーションをとりながら和気あいあいとした雰囲気、楽しみながらそばを打っていました。最後に自分たちで打ったそばを試食しました。色々な太さのそばがありましたが、とてもおいしくいただきました。



## 生徒の活躍



## 県定通体育大会

バドミントン部4名、卓球部3名が県大会へ出場しました。その結果バドミントン部と県大会不戦勝の陸上部2名、ソフトテニス部2名が全国大会に出場しました。

## 生活体験発表

生活体験発表島根県大会が宍道高校で行われました。本校を代表して2名の生徒が参加をし、そのうち1名は全国大会の出場を決め、大舞台上で堂々とした発表をしました。

## 定時制卒業生会

定時制卒業生会では、母校材公営の就学を激励することを目的に援助を行っています。

## テーブルマナー

サンラポーむらくもにて、4年生を対象にテーブルマナー講習会を行いました。この講習会では、食育とコミュニケーション能力向上を目的として実施しています。

初めてコース料理を食べる生徒が多くなりましたが、講師のきめ細かなご指導のおかげで、和やかな雰囲気の中食事を楽しむことができました。



## 皆勤・精勤賞表彰

定時制卒業生会では、1年間の皆勤・精勤の表彰を行っています。本年は、皆勤賞3名、精勤賞3名が表彰されました。

# がんばってます卒業生

テーマ  
ベテランの先輩と若手の後輩  
昭和・平成・令和の中で2つの世代を紹介する

## 株式会社プロテリアル 安来工場 勤務

### 塔山 拓朗 (機械科 平成14年卒)

㈱プロテリアル安来工場は、高機能材料メーカーとして自動車や航空機、エレクトロニクス分野の幅広い産業を支える高付加価値製品を世界に提供しています。現在私は素形材部兼企画部に所属し部門を横断した原価低減や生産性向上に取り組んでいます。

渡邊さんは5現主義（現場・現物・現実・原理・原則）とフットワークが持ち味で頼りになる存在です。また、安来工場には我々以外にも多くのOBが在籍しており皆さんが第一線で活躍され会社を牽引しています。

### 渡邊 亮 (電子機械科 平成16年卒)

私は生産革新グループに所属し現場改善や品質の安定に向けた業務に携わっています。日々の製造の中で発生する課題や不具合に対し、その原因を現場と一緒に考え、生産性向上や品質不具合の再発防止につなげることが主な役割です。

塔山さんからは現場で改善を行う上での基本姿勢や所作についてアドバイス・指導を受けながら経験を積み、現在の立場に至っています。また品質管理の分野では安来工場の域を越え全社の人材育成にも講師として関わっています。



## 三和電工株式会社 松江支店 勤務

### 稲田 伸平 (電気科 平成24年卒)

電気工事は、生活に必要な不可欠な電気を安全かつ安定的に使うための重要なインフラ業務です。私たちは人々の生活を支える担い手として一人一人が責任をもって電気工事の業務を遂行しています。私は主に現場管理を行い、光田君は現場施工を担当しています。彼は入社当時から返事の良さは人一倍で指示に対してもテキパキ動く頑張り屋の後輩です。入社3年目ですので現場を1件こなすことを目標に、培ってきた経験を活かし頑張っしてほしいです。近い将来、安心して現場を任せられる人材になってくれることを期待しています。

### 光田 雅哉 (電気科 令和6年卒)

私は先輩の指導のもと主に住宅や店舗で照明やコンセントの取付け、配線から送電までの工事を行っています。

配線一本一本に電気が通り、照明が点いた時の大きな達成感にやりがいを感じながら、先輩のような一人前の電気工事士になれるように毎日の仕事を頑張っています。

携わった建物がいつまでも街に残り続け、そこに明かりが灯ると、人々の生活を支えているという実感ももて、電気工事士の仕事に誇りを感じます。

今後もこの仕事に誇りをもって業務に励みたいと思います。



## 新和設備工業株式会社 勤務

### 池田 健司 (造船科 昭和56年卒)

昭和56年入社以来、管工事業に携わり45年。現在は実習生や新入社員と共に現場に立ち、日々ぎやかに業務に励んでいます。言葉や経験の違いに戸惑うこともありますが、若手と関わる中で自身も成長を実感しています。後継者不足が課題となる中、技術の伝承と人材育成を大切に、仲間と力を合わせ、信頼される仕事を一つひとつ積み重ねて取り組んでいます。

### 松本 幸大 (電子科 平成25年卒)

給排水衛生設備の仕事に従事する中で、近年は若手の育成、そして今年からは実習生の指導を任されています。責任の大きさを感じる一方で、自分自身もまだ学びの途中であると実感しています。育成を通じて共に成長し、仲間と力を合わせながら、より良い技術とサービスを提供し、お客様に喜んでいただけるよう日々頑張っています。

また先輩に現場管理や営業などたくさんのことを教えていただいています。また営業で同行いただくことも多く、一人で訪問するよりも成約率や展開が早く先輩との同行営業の力を感じ日々指導や同行いただけることに感謝しております。自分自身も会社に貢献できるような社員を目指し日々精進致します。



# 工窓会支部だより

## 東京支部

工窓会東京支部長 清山 利治

(機械科 昭和32年卒)

令和7年度東京支部定期総会をアルカディア市ヶ谷で開催しました。10月の定期総会では東京支部の決算・活動報告、平成8年度予算・活動計画等。今後の課題として①高齢化が進展し退会者の増加傾向にあります②若年卒業生(平成・令和)の同窓会に対する希薄化および進路先動向の情報収集は困難③案内送付の通信はウェブを活用しての改善をした。また、活動資金の現象に伴い会の運営・存続危機は厳しい状況④役員体制の刷新が急務；等々を数回に渡り役員会にて検討を重ねて、定期総会で審議しました。恒例の講演会は行わず、交流会で美里里美歌謡ショーを行ない、会員相互の情報交換、抽選会等を実施して交流は密を増し、楽しいひと時を盛会にて終えることが出来ました。今年度10月31日開催に向けて企画立案しています。先輩・後輩をお誘いして是非ともご出席を期待しています。



## 近畿支部

### 近畿松江工窓会第105回総会・懇親会

近畿松江工窓会会長 岩波 憲夫

(電子科 昭和51年卒)

令和7年11月29日(土) 13時〜16時、今年も大阪なんばの「道頓堀ホテル」にて開催。開会に先立って全員集合写真をパチリ！  
■第一部開会の最初は逝去者に黙禱、三澤会長の挨拶、その後本部田中会長様と本校松原学校長様にご祝辞をいただいた。現在は6学科編成で学科名も変わっているので、工窓会も今後の進め方は変化の過渡期になる。会計報告、監査報告、会則改正等、全て承認されて第一部は終了。(小休憩)

■第二部懇親会は、オープニングの和歌山の石倉さんグループの「安来節・銭太鼓」等の演舞！最年配の森さん(電気科29年卒)の乾杯で、健康に感謝して歓談交流会をスタートし、交流一体感！絶好調！その熱が収まるのも束の間、今度は「景品付島根クイズ」でまたワイワイガヤガヤ・ん!?最後にはアカペラで校歌斉唱♪。出席42名母校の絆を確かめ合った



## 倉敷支部

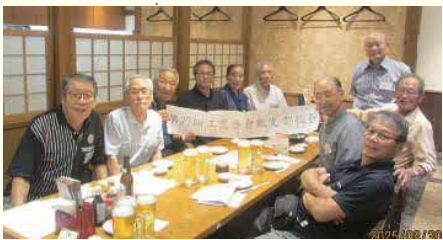
倉敷支部長 渡辺 敏雄

(機械科 昭和40年卒)

ひと時でした。ありがとうございました。来年もお待ちしております。  
令和7年8月の第27回倉敷支部総会は、松原紀夫校長先生にご出席いただき、学校の現状についてご報告いただきました。我々が在学していた約60年前とは大きく様変わりしており驚きと寂しさを感じました。

我々の一番の関心事は、卒業生の就職先であります。松原校長先生のお話では地元への就職が多く、中国地区へは期待薄とのこと。残念な思いが致しました。現状倉敷支部総会の出席者も、ここ10年で20数人から10数人に減少し最近では現役世代も高齢化し、メンバーが固定化しつつあるのが現状です。

また、各出席者メンバーの近況報告では、新田昭二さん(機械科昭和41年卒)の「たたら製鉄」による鋳の生成と玉鋼を折り返し鍛錬して刃物を製作する体験談に話が盛り上がり時間を気にしつつも、和やかで充実したひと時を共有することが出来ました。



## 広島支部

### 春の叙勲受章を祝う！第22回総会

広島支部長 寿藤 政人

(機械科 昭和50年卒)

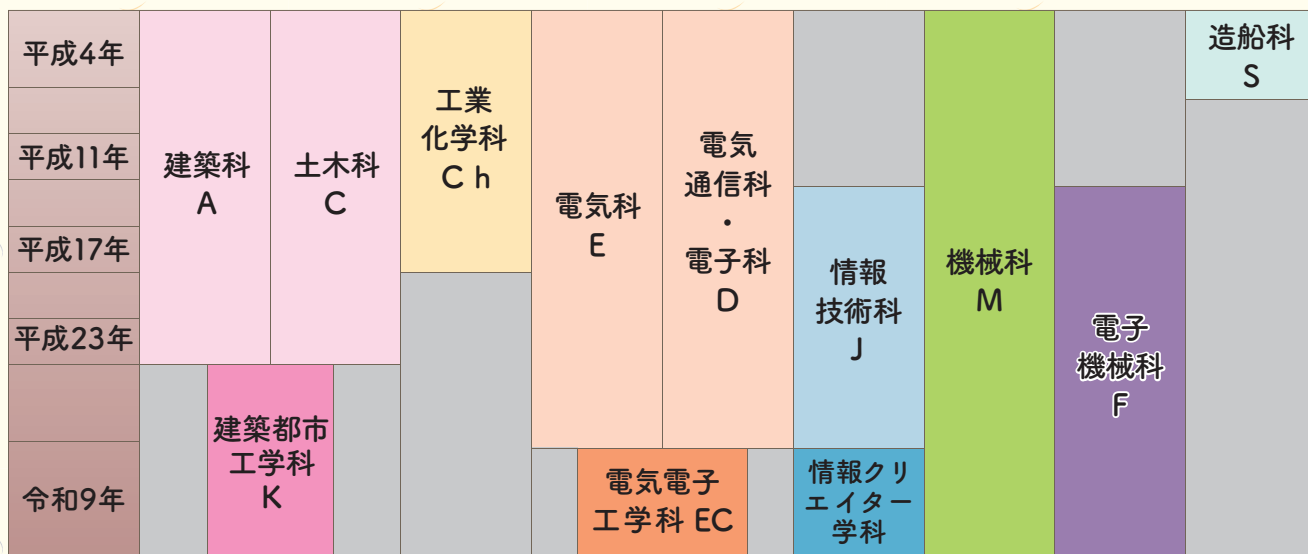
令和7年11月15日(土)昼に、広島市千田町「久里川」で総会を開催。今回、役員が高齢化等で2名退任となるも、新たに井塚利雄氏(土木科昭和49年卒)、石橋敬久氏(電気科昭和57年卒)、福岡智明氏(電気科平成11年卒)の3名を迎え体制を更新。

続く懇親会は、折しも春の叙勲で、若槻幹穂氏(土木科昭和45年卒)が「瑞宝双光章」受章により祝宴で進行。冒頭、ご本人から勲章を披露。皆まじかにそれを見る機会に恵まれ、勲章が放つ威厳ある存在感や重みなどを感じつつ、誇らしさをも享受させてもらう。お祝いの品贈呈に重ね福岡智明氏が詩吟で花を添える。ご本人の受章にまつわるエピソードを伺いながら心地よい談笑が進む。終盤は、恒例のじゃんけん大会。新米「仁多米」30分の争奪戦に熱狂し、校歌斉唱、藤田潮氏(土木科昭和53年卒)の締めで結ぶ密度高き総会であった。



# 松江工業高校全日制 近年の学科の変遷

母校の学科の変遷が知りたいという会員の方の要望がありましたので、下記のようにまとめてみました。クラス数は、最大で1学年7学科11クラスあったものが、現在では5学科5クラスに減っています。



- 平成4年3月** 造船科最終生徒卒業  
これにより6学科10クラスに改編
- 平成6年3月** 工業化学科の2クラスが1クラスに減  
これにより6学科9クラスに改編
- 平成11年3月** 情報技術科、電子機械科一期生卒業  
電気科、電子科、機械科の各2クラス  
が各1クラスに減  
これにより8学科8クラスに改編
- 平成17年3月** 工業化学科最終生徒卒業  
これにより7学科7クラスに改編

- 平成22年3月** 建築科、土木科最終生徒卒業
- 平成23年3月** 建築都市工学科一期生卒業  
これにより6学科6クラスに改編
- 令和8年3月** 電子科、電気科、情報技術科最終生徒卒業  
これにより5学科5クラスに改編
- 令和9年3月** 電気電子工学科、情報クリエイター学科  
一期生卒業予定



## 工窓会校内幹事よりお願い

(※校内幹事：母校にて教職員として勤務する工窓会員)

昨年校内幹事会にて、松江工業高校の存続に関わる話が出ました。その内容は、島根県は生徒数減少による学級減を専門高校と普通高校に振り分けていますが、そのバランスがあまりにも普通高校を残す方向に偏っているのではないかと。専門高校である松江工業が学年11クラスあった時期に創立した普通高校は現在も存続し、松江工業は半分以下の規模に減っています。そこで県議会議員をしている工窓会員などの協力を得て学級数減に歯止めをかけるべきではないでしょうか。という話でした。

この話を工窓会員の皆様に周知して、中には県議会議員とのつながりがある方もいらっしゃると思います。松江工業高校存続に関わる、この話を伝えていただけませんかでしょうか。よろしくお祈いします。





## 工窓会総会への参加方法について

今年は同封の出席ハガキに切手を貼って予めお出しください。当日受付にて懇親会の参加の確認をしますので、参加の場合は会費5,000円を申し受けます。また出席ハガキを出されなかった場合でも当日参加もできますので、誘い合わせて多数の方の参加をお待ちしております。

【懇親会は級友との同窓会を兼ねた集まりとして、部活動OBの青春を懐かしむ集まりの機会としてもご利用くだされば幸いです】

## 創立120周年記念事業準備委員会が動き出しました

母校松江工業高校は令和9年度に創立120周年を迎えます。これを記念して行う事業を検討するために、学校と工窓会が協力して準備委員会を立ち上げました。検討の結果、決定した工窓会関連の事業については工窓会ホームページで随時お知らせしていく予定です。



## 工窓会報の郵送を止める検討を始めました

現在の工窓会一般会計は、皆様に協力金という形で補助していただいておりますが、その運営は芳しくありません。そこで毎年印刷・郵送をしております工窓会報を、工窓会ホームページ上で公開して会員の皆様に閲覧していただく

方法に改め、印刷費と郵送費を節減する案が役員会にて提起されました。今後、工窓会理事会・評議員会・総会を通して検討することを始めました。



## 工窓会各科理事・評議員を募集しています

昨年より、情報技術科、電子機械科および建築都市工学科の下記役員を募集しております。

	理事 募集数	評議員 募集数
情報技術科 卒業生	2名	2名
電子機械科 卒業生	2名	2名
建築都市工学科 卒業生	2名	2名



役割としましては年一回（5月中旬）母校にて開催される理事会・評議員会に出席いただいて、総会にかけの議題を検討・審議いただくこととなります。

役員を受けていただける方がおられましたら、工窓会事務局（松江工業高校 高松）までお知らせください。

## 雲南支部が活動を終わりました

今年の3月末をもちまして工窓会雲南支部が支部としての活動を終わられました。

## 工窓会協力金のお礼と報告

令和7年度も皆様よりの心温まるご厚情をいただき、下記金額が集まりました。そのお陰をもちまして、工窓会報も毎年発行することができております。

工窓会役員一同ここに厚くお礼申しあげ、今後とも変わらぬご協力をお願い申し上げます。

工窓会協力金 総額**1,874,882円** 協力者数 **737名**

### 工窓会協力金芳名録

工窓会協力金として、2千円を超える額面を納めて頂いた方々をご紹介します。  
なお掲載を希望されない方については掲載しておりません。

長谷川友昭 様	古澤 謙一 様	浅野 公 様	中村和貴雄 様	林 威夫 様
足立 隼人 様	小林 一郎 様	石飛 洸稀 様	佐野 正治 様	稲田 宗 様
研谷 厚 様	余村 潔 様	渡部 誠司 様	上山 良寿 様	島谷 徳次 様
寺本眞之助 様	藤原 利朗 様	平田 栄 様	目附 直人 様	田本 稔 様
広野 敏男 様	諏訪 淳志 様	石丸 澄夫 様	青山 修治 様	林 司 様
福島 則光 様	河野 恵宗 様	田中 敬 様	勝部 守 様	狩野 隆幸 様
梶田 勲 様	岸本 和朋 様	宅和 昌男 様	青木 順次 様	金津 義彦 様
小林 照 様	曾田 吉郎 様	吉田 昭 様	吉川 勝義 様	藤田須佐雄 様
永海 克彦 様	森山 武久 様	青木 治美 様	勝田 勇 様	杵村 修一 様
津山 東輝 様	小林 寛親 様	後藤 善徳 様	角田 聖治 様	福島 順 様
川上 義雄 様	青山 寿 様	井上 博康 様	渡部 博尊 様	伊藤 春朝 様
勝部 武夫 様	川嶋 卓司 様	古木 寿人 様	石倉 健治 様	門脇 克美 様
土屋 博靖 様	佐藤 登美 様	秦 兆広 様	藤原 広典 様	梅川 徳男 様
神山 春男 様	古瀬 竹善 様	崎 秀政 様	周藤 正之 様	登田 一郎 様
松井 宏治 様	堀江 寿彦 様	川本 文夫 様	鐘築 重治 様	田中 和夫 様
小原 正嗣 様	藤本 誠三 様	高木 陽治 様	田中 正彦 様	為国三津雄 様
佐々木 亨 様	佐々木修司 様	藤城 坦 様	長谷川 豊 様	安部 智志 様
藤原 伸行 様	影山 巖 様	奥本 真 様	佐々木 隆 様	柴田 隆 様
武田 泉 様	時吉 正光 様	山城 昌幸 様		

※以上の方の他に644名の方より協力金を納めていただきましたことをご報告いたします。